

デザイン科学の枠組みに関するワークショップ

2007年5月12日(土)、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、「デザイン科学の枠組みに関するワークショップ」が開催されました。はじめに、松岡が本ワークショップの趣旨を述べるとともに、デザイン科学の枠組み、デザイン理論の枠組みとしての「統合デザインモデル」、およびデザイン推論の枠組みに関する講演を行いました。つぎに、講師としてお招きしたイリノイ工科大学の佐藤啓一教授に、デザインフレームワークに関するご講演を行っていただくとともに、デザインに関わる研究・教育者（慶應大・静岡大・豊橋技術科学大）、企業関係者（東芝・日産・マツダ・ジャストシステム・DTD）、および学生等を含む約30名の方々と交えた活発なディスカッションが行われました。本ワークショップにおきましては、これまでに議論が進められてきたデザイン科学の枠組み構築に向けた方向性が明確に見えてきました。今後は、この枠組みにもとづき、デザインの方法・教育・哲学などの具体的な課題に対する議論を進めていくことが望まれます。ご講演をいただきました佐藤教授、ならびに貴重なご意見をいただきました参加者の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



佐藤啓一先生による講演の様子



会場の様子